

Contents

1. コロナ禍での部活動状況
2. 新入部員紹介
3. 今後の活動予定
 - ・競技大会 ・関連行事
 - ・リモート交流会開催のお知らせ
4. ご支援のお願い
 - ・女子インカレ北九州遠征に向けた助成金の募金について
 - ・部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について
5. リレー寄稿 あの先輩はいま
6. 訃報
7. 2019年度総会報告
8. 寄付者ご芳名



オンラインで一緒にトレーニングを行う女子部員たち

コロナ禍での部活動状況

先輩の皆さま、大変お世話になっております。主将の知念勇樹です。わが部の近況についてご報告させていただきます。

現在、新型コロナウイルス感染症が日本全国また世界中に多大な影響をもたらしており、わが部においても例年通りの活動を行うことができていません。幸いなことに部員とその家族、監督・コーチ陣においては感染の報告は受けておりません。感染防止対策をしっかりと行いながら、このパンデミックが一日も早く収まることを願うばかりです。

2月下旬から合宿の規制や大会の開催中止・延期が始まり、3月下旬に全体練習を取りやめ、4月7日以降は緊急事態宣言発令に伴って大学施設が閉鎖され、練習場も使用禁止となりました。帰省せず東京に残る部員が自宅で少しでも練習できるようにと、岡田部長のご尽力により練習器具を貸し出させていただきました。

5月28日から練習場使用の許可が下り、多くの制約がある中ではありますが、活動を再開しました。練習場は地下2階の窓のない「密」な空間です。そのため他大学や他部の活動と比べてより一層の対策が必要であり、同時に練習を行う人数と時間の制限、マスク着用と日々検温の義務化などの対策を実施し、今もなお世の中の状況を見つつ調整を続けている段階です。



安全を優先して全体練習は行わず、約3分の1の部員が地元で待機中です。特に新1年生は部に合流して間もなく解散となっており、上級生と直接のコミュニケーションが取れていない状況です。対策として、Zoomを用いたオンライン合同トレーニングや、学生トレーナーによる勉強会を定期的で開催しています。早稲田と各地方の高校などに分かれての活動ではありますが、練習できる環境があることに感謝しつつ、いずれは臨むことになる試合に向けて部員一人ひとりが努力を重ねております。

結びに、先輩の皆さまから多大なご支援をいただき感謝申し上げます。いつの日か教場や試合会場で努力の成果をお見せできるよう、チーム一丸となって精進してまいります。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。体調を崩さぬようどうぞご自愛ください。

スポーツ科学部4年・主将 知念勇樹

新入部員紹介 (1/3)

今年度は男子3名・女子8名、計11名の新入部員を迎えました。将来活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ① なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
- ② 試合で注目してほしいところは？
- ③ 早稲田に来て驚いたことは？
- ④ 今後の目標は？



西川 和真
(にしかわ かずま)

学部：スポーツ科学部

出身高校：石川県・金沢学院高校

階級：73kg級 ベスト：S:118kg/C&J:145kg

- ① スポーツのことを学べて、ウエイトリフティングに本気で楽しく取り組める環境が早稲田大学にあったからです。
- ② 試技の全てを見てほしいです。
- ③ 学生トレーナーがいること、練習メニューに縛られることなく一人一人が考えて練習しているところです。
- ④ 全日本で頂点に立つこと、インカレで活躍できる選手になることです。



駒阪 勇気
(こまさか ゆうき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：和歌山県・紀北工業高校

階級：81kg級 ベスト：S:125kg/C&J:156kg

- ① 憧れていた大学だったからです。
- ② 試合中に落ち着いているところです。
- ③ 校舎がまるでビルのように驚きました。
- ④ インカレに出場してチームに貢献したいです。



木口 永遠
(きぐち とわ)

学部：スポーツ科学部

出身高校：岐阜県・海津明成高校

階級：+109kg級 ベスト：S:120kg/C&J:140kg

- ① 練習場の設備が整っており、集中して取り組める環境だと思ったからです。
- ② 挙げるときの勢い（特にスナッチのキレ）に注目してほしいです。
- ③ 部員が多いことや、いろいろな部活動があるところです。
- ④ 1年間で自己ベストを13kgずつ伸ばすことです。

新入部員紹介 (2/3)



佐藤 日路
(さとう ひろ)

学部：スポーツ科学部

出身高校：山梨県・日川高校

階級：45kg級 ベスト：S:61kg/C&J:76kg

- ① ウェイトリフティングの強豪として有名だからです。
- ② 応援なども含め、試合に一丸となって取り組む姿勢を見てほしいです。
- ③ 部に学生トレーナーさんがいることです。
- ④ 今年度中にトータル145kgを取ることで、インカレに出場してチームに貢献できる選手になることです。



佐々木 暁
(ささき あきら)

学部：社会科学部

出身高校：北海道・札幌琴似工業高校

階級：49kg級 ベスト：S:68kg/C&J:80kg

- ① 将来の選択肢を増やしたかったことと、憧れの鈴木梨羅さんと原沙織さんがいるからです。
- ② スナッチで柔軟性の高いフォームに注目してほしいです。
- ③ 外国人の学生が多くいることです。
- ④ 世界ジュニアの記録を超えることで、インカレに出場することです。



木村 咲紀
(きむら さき)

学部：社会科学部

出身高校：兵庫県・明石南高校

階級：55kg級 ベスト：S:78kg/C&J:95kg

- ① 憧れの原沙織さんがいたからです。
- ② 試技前のあいさつを大きな声で頑張っているところです。
- ③ 学校の近くにあるいねやお弁当がおいしかったことです。
- ④ 大学新記録をとることです。



吉田 いぶき
(よしだ いぶき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：香川県・香川中央高校

階級：55kg級 ベスト：S:74kg/C&J:103kg

- ① 高校生のときに早稲田の練習に参加させていただいた際、先輩方がひたむきに練習に取り組む姿に憧れ、私も一緒に高みを目指したいと思ったからです。
- ② 逆転のC&Jに注目してほしいです。
- ③ 早稲田のキャンパスは想像していたよりも広く、ハリー・ポッターの世界のようで驚きました。
- ④ インカレで個人と団体の両方で優勝すること、オリンピックに出場することです。

新入部員紹介 (3/3)



伊藤 紗彩
(いとう さや)

学部：スポーツ科学部

出身高校：埼玉県・埼玉栄高校

階級：64kg級 ベスト：S:80kg/C&J:100

- ① 松本潮霞さんに憧れているからです。
- ② 試技中の笑顔に注目してほしいです。
- ③ 所沢キャンパスが思っていた以上に物凄い森だったことです。
- ④ インカレで個人でも団体でも優勝することです。



加茂 千弦
(かも ちづる)

学部：スポーツ科学部

出身高校：東京都・東亜学園高校

階級：71kg級 ベスト：S75kg/C&J98kg

- ① 一度練習に参加させていただいたときに早稲田でウエイトリフティングを続けたいと感じたことと、学業の面においても学びたいことが早稲田にあったからです。
- ② 応援の掛け声や試技する際の緊張感に注目してほしいです。
- ③ キャンパスの広さと授業や部活動の自由度の高さです。
- ④ 怪我をせず、4年間で着実に記録を伸ばすことです。



田中 美奈
(たなか みな)

学部：スポーツ科学部

出身高校：香川県・香川中央高校

階級：71kg級 ベスト：S:90kg/C&J113kg

- ① 学生主体で練習していることと、国際大会出場経験をもつ選手がいて、私も同じ環境と一緒に練習したいと思ったからです。
- ② 競っているときの重量選択の駆け引きや、会場の全員が注目しているときの雰囲気です。
- ③ 大学が想像以上に大きかったことと、部にトレーナーがいることです。
- ④ 今の目標は全日本選手権で3位以内に入ることです。将来は大学記録を挙げて、世界で活躍できる選手になりたいです。



吉田 琴乃
(よしだ ことの)

学部：スポーツ科学部

出身高校：岩手県・盛岡工業高校

階級：+87kg級 ベスト：S:83kg/C&J103kg

- ① ウエイトリフティングについて高いレベルの知識や技術を身につけたいと思ったからです。
- ② クリーンが得意なので注目して欲しいです。
- ③ 大学や練習場の設備がとても整っていて充実しているところです。
- ④ 1年間でトータルを5kg以上伸ばすことと、学業と部活動をともに充実させることです。

今後の活動予定

既にご案内のとおり部や当会の活動も新型コロナウイルス感染拡大防止のため関係機関からの指針に従い三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫をしながら続けているところです。

競技大会や関連行事についてここに現時点で最新の状況をお知らせしますが、感染拡大が予断を許さない状態ですので今後変更となる可能性があります。どうぞご注意ください。

■ 競技大会（2020年12月まで）

大会名	会期	場所
全日本学生個人戦	未定（12/19-20から再延期）	未定
全日本選手権 全日本女子選手権	未定（12/15-18から再延期）	未定
東日本大学対抗選手権 東日本学生個人選手権	未定（10/1-4から再延期）	未定
東日本学生新人選手権	中止	
国民体育大会	中止	
全日本大学対抗選手権1部 （男子インカレ）	11月13日(金)～15日(日)	日本大学生物資源科学部体育館 （神奈川県藤沢市）
全日本女子選抜選手権 （レディースカップ）	11月22日(日)～24日(火)	西野公園体育館 （三重県亀山市）
全日本大学対抗女子選手権 （女子インカレ）	12月5日(土)～6日(日)	浅生スポーツセンター （福岡県北九州市）
早慶定期戦	未定（開催方法検討中）	

※ 大会は観戦・応援を目的とした入場に制限が設けられる可能性があります。ご注意ください。

■ 関連行事

行事	日程	場所	備考
新入部員歓迎会（リモート交流会）	8月30日(日)	リモート開催	下記参照
慶應義塾重量挙部新練習場お披露目式	未定	日吉記念館トレーニング場	延期
バーベル会（早慶親睦ゴルフ会）	中止		
稲門体育会ゴルフコンパ	10月14日(水)	千葉カントリークラブ梅郷コース	表彰なしプレーのみ
稲門体育会会員総会	2月22日(月)	リーガロイヤルホテル東京	11/17から再延期

【リモート交流会開催のお知らせ】

新入部員歓迎会や意見交換会など部員とOB・OGが直接会って交流することが難しい状況ですので、代わりにWeb会議システムを利用したリモート参加型の交流機会を設けることにしました。

スマートフォンやカメラ・マイク搭載のPCとインターネット接続環境があれば、国内外どこにいても参加することができます。地方在住の皆さまもこの機会にぜひご参加ください。

開催日時： 2020年8月30日(日) 10:00～11:00

開催方法： Web会議システム（Zoom）によるリモート交流会

【内容】 新入部員による自己紹介、役員から当会取り組み紹介など中心に進めていく予定です。

参加申込： 参加を希望される方は、8月23日(日) までにメールにてご連絡ください。

ご連絡いただいた方へ後日、参加の手順詳細についてお知らせします。

【連絡先】 twc@coffee.ocn.ne.jp（幹事長・野中宛て）

ご支援のお願い

2019年度総会資料でもご案内のとおり、コロナ禍での部活動継続に向けて当会として二つの部財政援助の取り組みを企画いたしました。取り組みの趣旨をご理解の上、皆さまのご協力を賜れますと幸いです。

【女子インカレ北九州遠征に向けた助成金の募金について】

今年度の女子インカレは、12月5日～6日に福岡県北九州市で開催される予定です。わが部は女子部員22名を主体とした遠征を計画していますが、往復の交通費と宿泊費だけでも概算で170万円もの費用がかかる見込みです。

また、コロナ感染拡大の状況次第では関係機関の指針によって、遠征参加者全員のPCR検査受検や一棟貸切の宿泊施設確保が必要となり、更に費用がかかることも考えられます。

女子は昨年僅差で届かなかった団体戦優勝を目指しての対抗戦です。部員が安心してトレーニングに注力できるよう、経済的負担の軽減に向けて皆さまから広く助成金を募り援助に充てることとします。

なお、今後の情勢により女子インカレの開催が中止となった場合には、「特別積立金（遠征補助等）」としてお預かりし、当初の目的達成のため大切に使用させていただきます。

【募金目標額】

500,000円 [参考] 一人20,000円×部員25名分（女子22名+トレーナーほか）

【募集金額】

一口5,000円（5,000円以上1,000円単位で任意）

【募集期間】

2020年12月末まで（予定）

【申込方法】

当会口座に直接お振り込みください。

振込先： 金融機関／支店 = **みずほ銀行 新宿新都心支店**
科目／口座番号 = **普通 8220922**
受取人名 = **トウモンウエイトリフティングクラブ**

【部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について】

コロナ感染拡大による経済活動への影響が長引いており、わが部においても家計支持者の収入減等のため修学の継続が難しくなる部員が出てくるのが懸念されます。志を持って進学・入部してきた後輩たちが誰一人として経済的理由により修学をあきらめることのないよう、準備しておきたいと存じます。

当会取り組みとして、部員の経済的支援を目的とした「ウエイトリフティング部奨学金」の運用が円滑に進むよう、部指定寄付による支援金の募金にご協力をお願いいたします。

※ 先般送付させていただいた総会資料に「ウエイトリフティング部奨学金運用内規」を掲載しております。

【募集金額】

一口10,000円（10,000円以上で任意） ※ 募金目標額・期限は定めません

【申込方法】

早稲田大学の寄付制度による「ウエイトリフティング部」指定寄付

※ 本制度による寄付は、寄付金控除の対象となります。

以下のURLからお申込みいただけます。

<https://kifu-form.waseda.jp/waseda/exp/explanation.htm>

【操作手順】

1. 上記URLのページで『下記(上記)の条件に同意し「寄付を申し込む」』をクリック
2. STEP1申込入力が必要事項を入力、「寄付の種類」欄で「**体育各部または早稲田スポーツ全般**」を選択、続いて「指定先」欄で「**ウエイトリフティング部**」を選択
3. 決済情報入力後、『入力内容確認へ』をクリック、その後、STEP2確認画面～STEP3完了へと進む

リレー寄稿 あの先輩はいま

今回は当会監事の昭和51年卒・伊藤茂先輩に筆を執っていただきました。

今年度から高橋明先輩と一緒に監事を担当させて頂くことになりました1976年（昭和51年）卒の伊藤です。宜しく御願います。

この機会に昔話でも、とのご依頼を頂きましたので代々語り継がれているエピソードで恐縮ですが、合宿の思い出の一端を改めて披露させていただきます。

私たちが入部した1972年（昭和47年）の夏合宿は長野の菅平高原だった。初日は大学のグラウンドの片隅に練習場所を作ることに費やした。その頃の我が部の道場は文学部裏の高石記念プールのさらに奥にあり、そこから練習場の土台となっている厚さ10cm幅20cm長さ4mの角材を数人で担ぎ、トラックに積み込むのが一仕事だった。他にプレートやラックなどを積み終わると我々新人10人も幌の中の荷台に乗り込み早稲田を夕方出発した。角材の上に雑魚寝したが、背中が痛い上、真夏の幌の中は暑苦しくてよく眠れないまま翌朝、菅平に到着した。早速、角材を下ろしグラウンド上にプラットフォームを二つ作りテントを張ってようやく合宿の準備が整った。

翌1973年（昭和48年）の春合宿は四国の新居浜市だった。市の中心街にある「武徳殿」（現在は国の登録有形文化財）という武道場の中庭を借りて練習場所とした。こちらはプラットフォームは現地で用意して貰ったが、シャフト、プレートは自前ということで、1年生が道場から運ぶ役割だった。自分の荷物他にシャフトを担いだり、20キロプレートなら1枚、他なら複数枚を手を持つなどして地下鉄で早稲田を出発した。東京駅から新幹線に乗り込み、当時の新幹線終点の岡山駅まで行った。在来線に乗り継いで宇野駅にたどりついた後、宇高連絡船で四国に渡り高松駅から在来線で新居浜駅にようやく到着したら夕方になっていた。思い興せば学生が鉄の塊を手にした行列は異様な光景だったに違いない。それにしても連絡船のデッキ上で食べた讃岐うどんは本当に美味しかった。長い道中の一番の思い出である。

伊藤茂（S51卒）

訃報

5月に雨宮成先輩（H26卒）が永眠されました。

在りし日の活躍を偲び、心から哀悼の意を捧げます。

2019年度総会報告

新型コロナウイルスの影響により、2019年度総会は例年のように集まっての開催が困難な状況となりました。先般ご案内のとおり、会員の皆さまにメール配信・郵送にて資料をお配りし付議事項等の報告を行うことで開催に替えさせていただきました。皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます、謹んで結果をご報告いたします。

■資料送付（総会参加）会員数： 205名

内訳： メール送付162名、郵送43名 ※メール送信エラー及び郵送不達返戻は0件

■審議事項（全7項目）結果： 賛成（議長＝会長一任）多数、反対0件

以上の結果について6月16日、志田典明会長に報告を行い、決議いたしました。

また、お寄せいただいたご意見も役員間で共有し、今後の運営に活かしていくことを確認しております。

なお、以下に総会資料の目次を掲載いたします。付議事項の要旨につきましては先般送付させていただいた総会資料をご確認いただきますようお願い申し上げます。

資料の再送をご希望の場合は、H01卒・野中弘一（幹事長）宛てにご連絡ください。

◆2019年度総会資料目次

1. 会長あいさつ（2頁）

2. 審議事項

2-1. 2019年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件（3-6頁）

2-2. 女子インカレ北九州遠征に向けた助成金の募金に関する件（7頁）

2-3. 部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金に関する件（8頁）

2-4. 2019年度新記録樹立選手に対する褒賞に関する件（9頁）

2-5. 慶應義塾重量挙げ部新練習場披露に伴う祝儀抛出に関する件（9頁）

2-6. 2020年度活動計画及び収支予算に関する件（10～12頁）

2-7. 役員を選任に関する件（13頁）

3. 報告事項

3-1. 副部長就任に関する件（14頁）

別紙

ウエイトリフティング部奨学金運用内規（15-16頁）

寄付者ご芳名

2019年度も皆さまから多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

■部遠征等助成金・寄付

108,000円 荒木宏久(S55) / 58,000円 谷川吉史(S45)

13,000円 内村正月(S44) / 5,000円 岩崎久和(H02)

3,000円 牧野雄児(S46)・樋沼博(S52)・高橋靖夫(S57) 3件

※一部「鵜飼信一前部長感謝の集い」協賛からの振り替えを含みます

◆指定寄付(ウエイトリフティング部指定)

100,000円 藤原哲郎様(校友)・匿名 2件 / 30,000円 匿名

1,000,000円 鵜飼信一(S46) / 50,000円 谷川吉史(S45)